

平成28年4月1日

平成28年度 東京都立第三商業高等学校 学校経営計画（定時制課程）

校長 中山 博之

1 目指す学校像（生徒一人ひとりが光り輝く学校「SUN商」）

- (1) 生徒一人ひとりの人権を尊重しながら、基本的な生活習慣を確立し、個性の伸長に努め、豊かな人間性の育成と健康の増進を図る。
- (2) 基礎学力を身に付けさせ、生徒一人ひとりの能力や適性を引き出すとともに、主体的に判断し行動できる資質や能力の育成を図る。
- (3) 日本の経済社会を担う人材を育成するため、ビジネスに関する基本的な知識と技術を習得させるとともに、専門性の深化を図る。
- (4) 地域貢献活動や地域連携活動により、健全育成を図るとともに、魅力ある商業高校として、地域に愛され、深く信頼される学校として教育活動の充実を図る。

2 中期的目標と方策

(1) 学校運営

- ① 都立高校学校経営指標に基づいた学校運営を通して、全教職員が課題を共有し、また、課題解決に向けた協力体制を強化し、組織的な学校運営を推進する。
- ② 執務ガイドラインの活用や各分掌における仕事内容の精査・整備を行い、分掌組織のマネジメントサイクル（P D C A）への取り組みを通して、課題解決に向けた効率的な校務運営を行う。
- ③ 若手教職員等の指導力向上を図るために、O J T診断基準を活用したO J Tの推進に取り組み、組織的な支援体制を構築し、学校の教育力及び組織力の向上を図る。
- ④ 奉仕体験活動を機会に地域と連携し、ビジネスマナーの習得と、学校で学んだ知識や技術の定着を図るとともに、ビジネス社会に通用する実践的な能力の育成を図る。

(2) 学校評価による学校改革の推進

分掌や教科等における自己評価、学校運営連絡協議会における評価、生徒による授業評価等を通して授業や特別活動等の見直しと改善を図り、魅力ある教育課程を編成する。

(3) 組織的対応力の向上

生徒や保護者、地域の期待に応えるため教職員の組織的対応力を高め、課題に誠実に対応するとともに、一層のサービスの厳正を図る。

(4) 基本的な生活習慣の確立

家庭との連携を強化し、きめ細かい指導により、生徒に自覚と責任を持たせるようマナーの定着を図るなど基本的な生活習慣や授業規律を確立する。

(5) 特別活動の充実

学習と特別活動の両立により、豊かな人間性の育成と個性の伸張を図るとともに学校への帰属意識、連帯感、達成感等を育てる。

(6) 4年間を見通した進路指導マネジメントシステムの構築

進路指導計画に基づき、1年次より自らの生き方あり方を考えさせるとともに、生徒意識調査

や職業適性検査、進路先の調査、資格取得等の計画的・組織的な進路指導を通して進路保証を図る。

(7) 職業観・勤労観の育成

各種機関との連携を深め、インターンシップを充実させるとともに、奉仕体験学習の機会を多く取入れ、社会性の体得やビジネスマナー等実践的な対応力を育成する。

(8) 基礎・基本の充実

読み・書き・計算・一般常識など、社会生活に必要な知識や技術を習得させるとともに、ビジネスに関する基本的な資格取得の充実を図る。

(9) 専門性と実践力の深化

自己や全体の状況を把握し、自ら課題を発見し課題解決できる能力を育成することにより、自らの進路を決定していく実践的な力の育成と専門性の深化を図る。

(10) 学校給食を通じた食育の推進

学校給食を教育活動の一環として位置付け、生涯を通じた健全な食生活の実現や健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識を身に付けさせるとともに、食を選択する判断力を育てる。

(11) 教育環境の整備

新校舎での教育活動が円滑に推進できるよう、よりよい教育環境を整備する。

(12) 募集対策の充実

教育活動を近隣住民、中学生、保護者等にPRし、本校で学びたいと希望する生徒を募集するとともに、適応指導教室との連携を深める。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標

① 基本的生活習慣の確立

- ・全教職員による組織的な生活指導体制の構築
- ・挨拶等の励行と奉仕体験活動による人としてのマナーの確立
- ・無断欠席や遅刻に対する指導体制の構築
- ・授業規律の確立

② 教育課程のさらなる充実

- ・生徒のニーズにあった選択授業の検証と改善
- ・段階的かつ系統的な学習指導と資格検定の検証と改善

③ 基礎・基本の充実

- ・学力向上推進計画の実施と改善
- ・定点観測を活用した基礎、基本の定着
- ・基本レベルの資格取得と一般教養試験への対応

④ 専門性と実践力の深化

- ・高度資格取得のための指導の充実
- ・課題研究の内容の充実及び地域や商店街との連携

- ・奉仕体験活動の充実と自尊感情の醸成

⑤防災教育の充実

- ・地域や関係機関と連携した防災教育の推進

⑥学校に対する帰属意識の向上

- ・生徒の委員会組織を活用した学校行事の実施
- ・4年間を見通した年間ホームルーム指導計画の策定と改善
- ・計画的な部活動指導と活動日数や時間等の環境保証

⑦目標管理型の進路指導システムの構築

- ・進路指導部と学年の連携による進路指導の充実
- ・資格取得等の計画的かつ組織的な進路指導の充実
- ・キャリアガイダンスの組織的かつ計画的な実施

⑧意図的・計画的な広報・募集活動の実施

- ・中学校の進路指導計画やPTAとリンクした広報活動の見直しと改善
- ・授業公開、学校説明会、中学校訪問、ホームページ等募集活動の見直しと改善

⑨保健・食育指導

- ・健康で安全な学校環境の確立
- ・自立的な生活管理と健康管理
- ・スクールカウンセラーの活用による相談機能の充実
- ・給食における食生活のマナーや食事を通じた人間関係の能力形成

⑩図書・視聴覚指導

- ・読書習慣の定着
- ・生涯学習への基礎づくり

(2) 重点目標と方策

①教育課程の改善と学校運営

- ・選択科目や学校設定科目の検証と改善を行い、学校の特色や生徒のニーズが明確に反映できる内容への深化を図る。
- ・学校運営連絡協議会との連携を図り、学校運営上の課題解決の見通しや具体策を構築する。
- ・体罰及び暴言の禁止について教職員に周知するとともに、必要に応じて研修等を実施して徹底を図る。

②学習指導

- ・主体性を持って多様な人々と協議して課題を発見し、解決策を見出していく「アクティブ・ラーニング」の視点にたった学習の充実を図る。
- ・習熟度別授業や少人数授業を通して基礎学力や体力の定着を図る。
- ・一般教養の内容について、各教科に意図的・計画的に導入を図る。
- ・各種検定試験をスモールステップとして、商業科目の学習へのモチベーションを高める。
- ・部活動・学校行事との両立を図るとともに、放課後や週休日、長期休業日における組織的、計画的な補習を実施することにより、基礎的な検定資格取得を確実なものとするとともに、より高度な資格習得に挑戦させる。

- ・地域連携や校外教育活動により、知識や技術の定着と実践力の向上を図る。
- ・オリンピック・パラリンピック教育を通して、自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観を持つ人々と協力・協働しながら問題を解決する態度の育成を図る。また、多くの外国人と交流する機会が増えていく中、臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や日本人としてのアイデンティティをしっかりと持ち、豊かな国際感覚を醸成する。

○数値目標

簿記検定 3 級以上取得者

2 年次 70%、3 年次 90%、4 年次 100%

ワープロ検定 3 級以上取得者

1 年次 70%、2 年次 80%、3 年次 90%、4 年次 100%

情報処理検定 3 級以上取得者

2 年次 90%、3 年次 100%

③生活指導

- ・挨拶の励行や遅刻、無断欠席、清掃、服装、頭髪指導等を学校全体の生活指導として定着させ、基本的な生活習慣やマナーを確立する。
- ・生徒の生活時間の把握を通して、生徒一人ひとりに対応したきめ細かい生活指導を家庭やスクールカウンセラーと連携しながら実施し、問題行動をなくす。
- ・教育活動の予定や状況をさまざまな伝達手段等で案内するとともに、保護者と連携しながら指導の充実を図る。
- ・セーフティ教室等を活用し、安全教育の推進を図り、登下校時のマナーや安全に行動できる資質や能力を習得させる。
- ・管理職、生活指導主任、各HR担任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラーからなるカウンセリング委員会を組織し、定期的に特別な支援を要する生徒についての情報交換と協議を行う。

④進路指導

- ・系統的な指導計画に基づく、組織的・計画的な資格取得やキャリアカウンセリング機能等を充実させ、生徒一人ひとりの進路実現を図る。
- ・「キャリアガイダンス」や「インターンシップ」を活用し、マナーやコミュニケーション能力を育成するとともに、進路先選択能力や進路意識を確立させる。
- ・進路指導計画に基づき、ハローワークと連携して全職員で進路指導を行い、就職希望者 100% の内定を目指す。
- ・過去の進路情報をデータベース化し、適切な進路指導を実施する。

⑤特別活動

- ・特別活動の充実を通して、生徒一人ひとりの存在感と達成感や、学校への帰属意識、クラスの連帯感を高めることにより、学校に生徒の居場所を作る。
- ・生徒会や委員会活動の指導を充実させ、ホームルームや学校行事を通して、学校生活の満足度

を高めるとともに、社会性を育み、自主性・自律性を高める。

- ・部活動の活動日数・時間（週休日も含め）等の環境保証と整備を通して、部活動加入率を70%以上とする。

⑥保健・食育指導

- ・健康や安全に関する指導を徹底するため、セーフティ教室の内容を精選、改善することにより、内容の充実を図る。
- ・全教職員とスクールカウンセラーが連携して相談機能を充実させ、きめの細かい保健指導を実現させるとともに、必要に応じて校内研修を実施する。
- ・家庭やスクールカウンセラーと連携し、学校不適応や問題行動を未然防止する。
- ・環境への配慮と校内美化のため、清掃指導やゴミ分別の指導の徹底を図る。
- ・給食時に食生活のマナーや食事を通じた人間関係の形成能力を見に付けさせるなど、食に関する指導を通して食育の指導を行う。

⑦図書・視聴覚教育

- ・図書委員会や広報活動を充実させ、図書館の資料の充実と利用の促進を図る。
- ・文化的な行事の内容の精選を行い、校外教育活動の充実を図る。
- ・教科と連携して読書習慣を定着させる。

⑧研究・研修

- ・長期休業日中における計画的な研修を通して、教科指導力を向上させる。
- ・現職研修制度を活用し、定期的に授業研究・研究協議を実施し、授業力を向上させる。
- ・学校運営連絡協議会や生徒による授業評価結果を活用し、授業の改善を図る。

⑨広報・募集活動

- ・教務部を中心に全教職員で中学生や保護者に、本校の教育活動をPRする。
- ・教育活動を具体的に示した内容をタイムリーに校門前掲示板やホームページに掲載し、情報を提供する。

○数値目標

中学校訪問	10校以上
授業公開	10日以上（30名以上）
体験入学	2回以上（30名以上）
随時学校見学	3日以上
一次募集応募倍率	1.0倍以上
転・退学率	10.0%以内
資格取得者数	50人以上
部活動加入率	70%以上